

令和元年度碧南市心身障害者福祉センター指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

令和元年8月21日（水）午後2時10分から午後2時35分まで

2 場所

へきなん福祉センターあいくる 2階 デイルーム1

3 出席者及び欠席者

(1) 出席委員

碧南市副市長 松井 高善（委員長）

東海税理士会刈谷支部副支部長 伴野 義雄

碧南市身体障害者福祉協会代表 鈴木 たか子

碧南市手をつなぐ育成会代表 牧野 昭彦

碧南市総務部経営企画課長 生田 和重

(2) 欠席委員

旧心身障害児者を守る会会長 小林 明子

民生委員児童委員協議会代表 高須 康治

(3) 事務局職員

福祉こども部長 遠山 隆夫

福祉課長 杉浦 浩二

福祉課社会福祉係長 河原 睦

福祉課社会福祉係主事 澤田 直也

(4) 指定管理者

碧南市社会福祉協議会 局長 山田 正教

碧南市社会福祉協議会 管理課長補佐 松野 盛高

碧南市心身障害者福祉センター 中山 修

4 傍聴者

0名

5 議題

(1) 平成30年度管理状況及び利用状況について

(2) 平成30年度収支決算状況について

- (3) 令和元年度事業計画について
- (4) 令和元年度収支予算について
- (5) その他

6 議事の要旨

- (1) あいさつ（松井委員長）
- (2) 議題

(1)平成30年度管理状況及び利用状況について及び (2)平成30年度収支決算状況について

指定管理者が会議資料に基づき、議題(1)及び(2)を相互の関連があるため一括して説明した。その後、審議した結果、承認された。

<主な意見・質疑>

【委員】

7ページの社会参加業務委託について、参加者数などは平成29年度と比較しどのようなであったか。

【指定管理者】

全委託事業合計で、平成29年度は延1,337名の参加がありましたので、平成30年度としては約100名の減少となっています。主な要因としては、障害者のつどい・成人式事業の参加者が50名程度減少したことによります。

【委員】

障害者デイサービス事業のように、社会参加業務委託についても事業内容の比較検討が出来るよう資料に記載することが望ましい。

【事務局】

今後の資料作成の際に、改めて参ります。

【委員】

心身障害者福祉センターの利用について、外国籍の方が増えてきているとのことだが、通訳者の設置などの対応はしているか。

【指定管理者】

通訳者の設置はしていません。社会福祉協議会として通訳機器を保有していますが、相談対応の場において使用することが多く、心身障害者福祉センターの窓口で

の利用はあまりしていないが、現在までのところ問題は起こっていません。

【委員】

施設運営に支障が無いよう配慮してほしい。

【委員】

社会参加業務委託の利用者が減ってきているとのことであったが、委託事業の参加者の多くは、各種障害者団体の加入者であり、各種団体においても加入者が減少してきていることが、事業利用者減の要因とも思える。

【委員】

障害者デイサービス事業についても、同様と思われる。碧南市はデイサービス事業も充実していると思っているため、事業内容の広報に力を入れて行ってほしい。

【事務局】

施設の広報活動として努めてまいります。

【委員】

議題（１）に事業内容が記載され、（２）に費用支出の内訳が記載される構成とするべきかと思われるが、（１）の３として事業内容の記載がある障害者デイサービス事業については（２）に項目が無く、（２）の３として費用支出の記載がある社会参加業務委託については、（１）に項目が無い。加えて、議題（３）、（４）においては、（１）、（２）と異なる記載構成となっている。また、事務費支出のうち業務委託費について、清掃委託と社会参加業務委託が計上されているが、社会参加業務委託費については、事務的な費用ではなくセンターの事業に関する費用であり事業費支出の分類に計上すべきかと思う。このような点を改めて行っていただきたい。

【指定管理者】

社会福祉法人の会計区分の構成上、委託費用については事務費としてしか計上項目を作ることができないため、このような資料構成となっています。事業内容の掲載に関する資料構成については、適切に改めて参ります。

(3)平成30年度事業計画について及び(4)平成30年度収支予算について
指定管理者が会議資料に基づき、議題(3)及び(4)を相互の関連があるため一括して

説明した。その後、審議した結果、承認された。

<主な意見・質疑>

【委員】

令和元年度から清掃費の支出がなくなった理由は。

【指定管理者】

福祉センターあいくるの直営化に伴い、館内清掃については一括して行政負担としたためです。